

「国語科」 授業のデザイン

授業者：濱崎 由美

1 日 時 平成29年 1月26日 (木) 第 5 時間目

2 学 級 1 年 2 組

3 題 材 (単元) 「少年の日の思い出」

4 本時の授業

(1) 目標

(2) 流れ

生徒の学習活動と主な意識の流れ	支援 (◇) と見取りの姿 (◎)
<p>・前時の振り返り。</p> <p>① 本時の課題と流れを確認する。</p>	
<p>視点を变えて場面を捉える。</p>	
<p>②基礎の課題</p> <p>・教科書の前半部分の作品の導入部分について、「私」の視点で書かれた文章を、「客」の視点で書かれた文章に書き直す。</p>	<p>◇最初にどのような点について気をつけなければならないか、意見を出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語はどうなるのか？ ・登場人物の動作はどのような表現に変わっていくのか？ <p>◎各班で意見を出し合い、文章にまとめられている。</p>
<p>③ジャンプの課題</p> <p>・前半部分の残りの部分を四つに分け、それぞれの場面を2班ずつに分担し、基礎の課題同様、「私」から「客」の視点に変えて、作品を書き直す。</p>	<p>◇各班を机間支援し、必要に応じて助言する。</p> <p>◎細かい情景をイメージしながら、文章の変換を班で協力して行っている。</p>
<p>④まとめ</p> <p>・各班で作った文章の発表を行う。</p> <p>・視覚的にも文章が見られるように、時間の余裕があればTVに作品を写すなどしたい。</p>	<p>◇同じ場面が2班で作られているので、それぞれの班の違いについても気づかせたい。</p> <p>◎発表を聞き、作られた文章の違いに気づくことができる。</p>

(3) 「学び合い」をどこでどう生かし深めていくか

・文章を書くことは、生徒によって非常に得意・不得意の分かれる分野である。その中で、今回の課題は、力のない生徒にとって非常に難しい問題となる。班の生徒の意見を聞き、意見を出し合うことで、こんな捉え方もあるのだということに気づかせ、文章を書く面白さを発見させたい。